

くまもとアートポリス×木材利用促進

木く活

シンポジウム2022

10/29 SAT.

中層建築物における木材利用推進のための建築基準法改正や、民間建築物も含めた木材利用促進を図るための新法が施行されるなど、国を挙げて木造建築物の促進が図られており、熊本県も「林業県」として早くから木材需要拡大の施策を展開しています。

また、アートポリスも当初から木造プロジェクトを多く展開しており、現在も県や市町村、民間の施設で木造建築物のプロジェクトが進んでいます。

今後、大規模建築物の木造化は社会からの需要もさらに増え、地球温暖化防止策やSDGsの取組みとしても木造建築物は有効な手段です。

このような状況のなか、新しい木造建築を創ってきたアートポリス事業の人材育成事業として、県産材を活用し、地域で育て、地域でつくる取組みなど木造建築整備の一層の推進を図り、また、SDGsの視点など建築が木造活用により社会に与える影響を考える場として、若い建築家とともにこれからの「木材活用の可能性」について議論するシンポジウムを開催します。

日時／令和4年(2022年)10月29日(土) 15:00-18:00

場所／県庁地下大会議室 (定員200名) 参加費無料
熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

内容

木材利用の可能性や熊本の木材供給に求めるものをテーマに、プレゼンターに資料を作成いただき、事前にホームページやフェイブックなどのSNSで公開します。

シンポジウムでは、プレゼンターが説明した後、熊本での木材活用の可能性についてコメンテーターとともにディスカッションします。

コメンテーター

- 小川 次郎 (アトリエ・シムサ)
- 原田 実生 (原田木材)
- 原田 展幸 (ライフジャム)
- 村木 勇一 (幸の国木材工業)
- 山田 憲明 (山田憲明構造設計事務所)
- 桂 英昭 (くまもとアートポリスアドバイザー)
- 末廣 香織 (くまもとアートポリスアドバイザー)

プレゼンター

- | | |
|-------|-------|
| 大谷 一翔 | 上野 瑞樹 |
| 児玉 敏郁 | 佐藤 俊輔 |
| 白橋 祐二 | 真道 吉広 |
| 田中 章友 | 林田 直樹 |
| 堀川恵巳子 | 三舛 正順 |

主催／熊本県 (林業振興課・建築課)



参加申込・問い合わせ

熊本県建築課 (アートポリス事務局)

電話 096-333-2537

アートポリス



くまもと
アートポリス

KUMAMOTO
ARTPOLIS